

(別添2)

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 就労継続支援B型
事業所名（施設名） 長野市ふたば園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会(利用者同士が話し合う機会)を設けて決定している。 □ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	○利用者の意向は、個別支援計画策定時に本人・家族・担当職員の三者による「個別懇談会」話し合いを行い、利用者の思いが日常の支援に反映されている。しかし、これらが確実に個別支援計画に反映されているとは言い難く、今後の課題と思われる。 ○権利擁護について、法人の進める「権利擁護総合研修チェックシート」を使い、利用者の権利について確認し、日常的は、「利用者ミーティング」で利用者同士が話し合う機会もあり、利用者・職員が共に理解を深め合うことが出来ている。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	c)	<input type="checkbox"/> 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。	○職員個々は、障がい者の権利について高い意識があり、利用者に寄り添った支援が出来ている。しかし、権利侵害についての届け出等については法人規定があるが、施設全体に周知出来ていない。利用者の中に、「権利侵害」という言葉に過剰に反応する利用者もあり、周知方法など苦慮しているとのことであったが、職員には、他のサービス提供マニュアルと同様に権利侵害に対する取り組みに関するマニュアルの周知が早急に必要と思われる。
	2 生活支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 16 生活の自己管理ができるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。	○日常サービスの中の様々な場面で、自律・自立を意識した働きかけを行っている。 ○利用者の夢や希望を利用者ミーティングで話し合い、掲示するなど、自律・自立に向けた積極的な動機付けを行っている。 ○自律・自立に向けた現実的な話は、利用者本人よりも家族と行うことが多く、職員はそれを課題だと認識している。職員の高い問題意識から、更なる活発な支援が期待できる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	■ 18	利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。	○コミュニケーションの苦手な利用者に対し、利用者・職員の思いを様々な方法で「見える化」する努力が行われている。また、これらに対し、素早く職員間で意見やアイデアを出し合い形にするチームワークも確立されている。 ○「サービス提供記録」をできる限り利用者が文字やマークを工夫して書くことなど、利用者自身が積極的に自己表現する機会を増やしている。
	■ 19			コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。		
	■ 20			意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。		
	■ 21			利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。		
	■ 22			必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。		
	b)		■ 23	利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。	○個別支援計画策定時の個別懇談会で本人・家族の思いをゆっくりと聞く機会を設けている他、日常的に利用者が職員に相談しやすい雰囲気にある。 ○施設内に利用者の個々の秘密を守りながら相談をする場所がなく、隣接する児童施設の相談室や屋外で行っている。利用者が安心して落ち着いた環境で相談できる設備が必要である。	
			■ 24	利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。		
			■ 25	利用者の意思決定の支援を適切に行っている。		
			■ 26	相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。		
			■ 27	相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。		

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>○個別支援計画に基づき、日中活動が活発に行われている。</p> <p>○法人内の相談支援事業所とも緊密な連携をとり、他の施設や社会資源の情報を取り入れながら、支援を行っている。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。 □ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>○県知的障害者福祉協会の研修などに積極的に出席し、専門知識の修得と支援の向上に努めている。</p> <p>○個別支援計画に基づく支援の記録が出来ていないなど、記録方法に改善の余地がある。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>○食事は、法人内のB型作業所の弁当を利用者の状況に合わせて、刻みなどの対応を行っている。</p> <p>○施設内に入浴設備はないが、必要に応じて「清拭」等の対応を行っている。今後、分園は生活介護に移行するにあたり、シャワーなどの設備に改修が必要と思われる。</p>
A	2	(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 □ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。 □ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 □ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>○施設内は、綺麗に清掃が施され、できる限り安全に過ごせるよう配慮が出来ていた。</p> <p>○本園・分園ともに手狭感が感じられた。行動障がい者や精神的に落ち着きが必要な利用者が増える中、時には一人で過ごせる落ち着いた場所や、感染症などで静養が必要な利用者を休ませる場所などの配慮が必要と思われる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	○限られた環境の中、利用者が少しでも落ち着いて過ごせるよう最大限の配慮が行っている。また、ストレッチや音楽療法などの外部専門家を招き入れ、活動の幅と支援の効果の拡大を目指している。
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 □ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	○利用者の健康状態は、連絡ノートを通して、自宅やグループホームなど生活の場と、密に連絡を取り合っている。 ○職員は、保健所の研修に参加し、利用者の健康管理についての研修を行っている。 ○家族や生活施設からの医療面での情報は収集しているが、それらをまとめた記録はない。 急な疾病やケガ等に迅速に対応できる体制作りが必要と思われる。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<input type="checkbox"/> 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法によりしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	○当施設が主体となった健康管理の記録はなく、体重測定や食事・排泄の把握に留まっている。利用者の障がいの重度化・高齢化が進む中、施設が積極的に利用者の健康を管理するシステムの構築が期待される。
	(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。	○多くの利用者は、地域生活を送りながら当施設を通所で利用しているため、日頃から社会参加ができている。当施設でも日帰り旅行や近隣の商店への買い物支援するなど、利用者の更なる社会参加を側面的に支援している。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	○家庭から当施設を利用している利用者に対し、法人の相談支援事業所と連携し、グループホームでのショートステイを体験するなど、将来の自立した地域生活に向けた取り組みを行っている。
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	○家族との連携は、個別支援計画策定時の個別懇談会に始まり、日常的には連絡ノートにおいて密に行っている。 ○緊急時には、個別の電話連絡の他、メールによる一斉配信の体制が出来ている。（2名がメールの受信が出来ず電話連絡）

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	—	80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。	子どもがいないため非該当とする。
				—	81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。	
				—	82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。	
				—	83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a)	■ 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 ■ 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。 ■ 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 ■ 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 ■ 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 ■ 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	○就労継続事業所として、利用者特性に配慮した個々に合った作業環境を提供し、意欲的な作業を行っている。仕事の内容や課題については、利用者ミーティングで利用者と職員が共に話し合い、個々の作業意欲の向上に施設みんなが協力する体制と雰囲気が出来ている。 ○利用者の重度化・高齢化が進む中、当施設では更なる工賃アップは困難な状況にある。その為、分園を「生活介護事業所」移行し、利用者一人ひとりにあった緩やかな就労活動が出来るよう、本園・分園の再編成を計画している。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	b)	■ 90	利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。	○「箱折り」「キャップ」「靴下」など、複数の作業種目があり、利用者の希望や障害特性に合わせた作業を提供している。 ○利用者が落ち着いて作業に集中できるよう、それぞれに応じた作業環境を提供している。 ○工賃は、全員一律の時給により適切に支給されているが、利用者の作業能力や成果を考慮した工賃の支給を検討している。 ○利用者の労働安全衛生に配慮した支援を行っているが、予想されるリスクなどを明確にしたマニュアルはない。様々な場面を想定したマニュアルの整備が必要と思われる。
	■ 91			利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。		
	■ 92			仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。		
	■ 93			賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。		
	■ 94			賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。		
	■ 95			労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。		
		③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b)	■ 96	職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。	○職場や受注先の開拓等のために市自立支援協議会の「仕事部会」や、法人の就労委員会に出席し、情報の収集を行っている。 ○近年、一般就労に移行できた利用者はいないが、一般就労を目指す利用者に対しては、法人内の就労移行业務所や相談支援事業所と連携し、一般就労を支援する体制はある。
	□ 97			障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。		
	■ 98			利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。		
	□ 99			就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。		
	■ 100			利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。		
	□ 101			地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。		